



憲法がめざす幸せの条件

日本のいろいろなところで、私たちはさまざまな暮らしをしています。憲法はそんなみんなが、幸せを求めて、平等に、自由に生きていくことを保障するために作られました。日本国憲法は日本人が幸せに生きるための道具です。

「憲法がめざす幸せの条件」(新日本出版社刊)という日野秀逸(ひのしゅういつ)さんの本には、「憲法」と私たちの「暮らし」の関係が分かりやすく解説されています。日本の社会保障はなぜ

生まれたのか。幸せになれる社会制度とは何か。経済学や社会保障の視点から“平和と健康は幸福の必要条件”、など身近な例を引きながらの平易な語り口に思わず納得。

そこで、「おがわ町九条の会新年の集い」に、日野先生をお招きして、お話を伺おうという計画を立てました。今からご予約に入れて、お出かけください。

おがわ町九条の会新年の集い

日時 2011年1月22日(土) 午後2時～

場所 小川町図書館視聴覚室

講演 「憲法がめざす幸せの条件」

講師 日野秀逸さん



※入場無料 ※楽しい福引を用意しています。

日野秀逸さんプロフィール：1945年、宮城県生まれ。1970年、東北大学医学部医学科卒業。医師、医学博士(大阪大学)。東北大学大学院経済学研究科教授(福祉経済論)歴任。東北大学名誉教授。医療と福祉について活発に発言、著書も多数。現在、日本生協連医療部会、国民医療研究所、労働運動総合研究所、日本医療労働会館等で活躍。「みやぎ憲法九条の会」呼びかけ人

井上ひさしさん追悼「父と暮せば」講演案内
～平和のメッセージとして、会員有志が小川町公演をご案内しています～

死者から贈られる未来を人はどう生きるのか

池袋小劇場 小川町公演

12月12日(日)
午後2時開演



井上ひさしさん追悼
(2010年4月10日逝去)

第21回(2009年)池袋演劇祭優秀賞受賞作品

井上ひさし作 関きよし演出

父と暮せば

—死者と生者の対話—

撮影 あがたせいじ



美津江 谷 彩了



竹内 山内 榮治

美術 幡野 寛
照明 関 定己
音楽協力 宮沢 勝之
方言指導 井上 由紀

会場 小川町腰越 パトリアおがわ ホール

料金：前売 2,500円(当日2,800円) 中高生・障害者 1,500円

小川町で一般の演劇を観る

主催「父と暮せば」を観る会 後援 小川町 小川町教育委員会

チケット・お問い合わせ：「父と暮らせば」を観る会事務局
電話/FAX 0493-74-1138(渡辺) 73-1478(藤村)

第五回記念

愛と自由と平和 おがわ町民コンサート

小川町に住み、また縁のある音楽家のみなさまによる音楽会「おがわ町民コンサート」、今年は第五回を迎えました。「平和だから歌える、故郷で奏で歌え、聴ける喜び」を皆さんで分かち合いました。ご出演の皆様のお言葉や、写真を交えてご報告いたします。今回ご参加できなかったみなさま、ぜひ次回は楽しいひと時をご一緒しましょう。(写真提供：大塚威さん)

「平和でなければうたえない。手をつなごう憲法九条を守る為に」そんな願いから始まった町民コンサートの取り組み、賛同された小川町在住の音楽専門家のみなさんと一緒に来て心から嬉しく思いまうす。
私たちハッピートレインは結成当初から「うたごえは平和の力。うたごえは闘いと共に」を合言葉にうたごえが聞こえる楽しい職場、明るく住みよい街づくりを目指す、労働運動、平和運動に今日まで積極的に参加してまいりました。これからも、この姿勢は変わらないと思います。
町民コンサートで特に感じる事は、音楽の幅広さ、そして音楽専門家の平和に対する想いと音楽の追求の深さ、真剣さです。勉強にもなりますし、深い感動を覚えます。
また、今回は岡部先生ご夫妻と一緒に舞台を踏むことが出来て、とても光栄に思いますし、合わせてスタッフのみなさんの誠実さに心から感動しております。(山口邦裕 さん)



岡部上さん

第5回おがわ町民コンサートに出演して岡部上・洋子私たち二人は、ハッピー・トレインの皆さんの心地よい伴奏と、山口さんの手馴れた司会のもとに、楽しく歌うことができました。ただ、歌唱力の未熟さを改めて認識しましたが、多少の緊張感とともに一つの達成感を味わい充実した一日を過ごす事が出来ました。このコンサートが、出演者にしても聴きに来てくださるお客さんにしても、もっともっと町民の方々に浸透して、愛と自由と平和を愛する者の文字通り「町民コンサート」として更に継続・発展していく事を祈ります。このコンサートの成功の為に、陰でいろいろとご尽力くださった方々に深く感謝しています。(岡部 上・洋子 ご夫妻)



大塚秀子さん

今年もまた秋の美しい小川町を訪れることができました。同じ「比企郡」とはいえ住んでいる鳩山町からなかなか出ないゆえに、鳩山-玉川-小川と辿る道を毎回楽しみにも貴重にも思っています。音楽は直接人の感情に訴えるものとよく言われますが、その場だけではなく後からじわじわと効いてくるものもあるような気がします。町在住の音楽家が集ってこうして5回目のコンサートが行われたというのは本当にすばらしく、音楽を通してこそ伝わるメッセージを送っているのではないのでしょうか。
私は大塚秀子先生の選ぶ曲目もいつも楽しみにしていて、今回も自分のパートはともかくとして、じっくり味わうことができました。他の出演者の方の演奏も、もっと自分に余裕があったならば客席で聴いたのに…などと思返しています。今回もスタッフの方々に大変お世話になりました。(大導寺俊平 さん)



遠藤ひとみさん



大塚幸穂さん



山口邦裕さん



大導寺俊平さん



岡部洋子さんとハッピートレインの皆さん

五年ぶりに演奏させて頂きました。ありがとうございます。演奏は聴く人がいて始めて成り立つ仕事、平和運動は自ら波を作り、強い力を生み出す仕事と感じました。
先日のチリの鉱山落盤事故では、多くの方の命が救われ、本当に喜ばしい限りです。ただ、多くの国が、これを賛美するのに我先にと表明しているのが、白々しく感じるのは私だけなのでしょうか？
多くの国が、エゴ丸出しで多くの方の命を奪い、人権蹂躪を繰り返しています。このことは、きちんと報道されているのでしょうか？
窮鼠、猫を噛む。の喩えがあります。テロはいけない！と異口同音に人は言います。しかし、追い詰めたものがあるから、テロが起きるのです。私たちは、無知であってははいけないと思います。少なくとも、的確な情報を知るべきです。マスメディアの責任は重く、私たちの責任も然りです。
演奏会にはたくさんの方々がいっていました。ありがとうございます。
ところで、日本人の美德として、自己主張をしないのが良いとされていますが、本当にそうなのでしょうか。改めましょう！！感情的にならず、的確な情報を得て、議論しましょう。知らないことは、知りましょう！！
戦争をしたがる人は、極々一部の人の人なのです。
良い方法が見つかることを祈ります。(遠藤ひとみ さん)

9条の会の皆様、先日は「おがわ町民コンサート」に集まって下さって、本当にありがとうございました。皆様の為に演奏することは私にとって大きな喜びです。演奏者が表現しようとしていることに真剣に耳を傾けて下さる聴衆者、心の暖かい雰囲気、さすが9条の会ですね！私は音楽を通して人を心の旅にお連れしたいのです。はじまりから紆余曲折を経て、またあらたな出発へ。音楽も人生もその繰り返しだし、誰でもそれによってつながることができると思います。小川町で皆さんの為に演奏するのは私にとって最高に気持ちの良い舞台です。御陰さまで、より高いレベルで音楽を表現出来るように頑張りたくなる、私にとっての、再出発でもあります。
本当にありがとうございました！またお会い出来る日を楽しみにしています。(大塚幸穂 さん)

今年もまた平和な小川町で町民コンサートに出演させていただき、歌うことができ、ありがとうございました。ご来場の皆様、計画・支援いただきました多くのスタッフの皆様にも心より感謝を申し上げます。
今年は、春から夏にかけて本番が多かったので、七月にプログラムを決定する時点では、どのような内容にしたらよいか、選曲には苦慮致しました。もっとポピュラーな曲にしてもよかったのですが、知られない曲でも、その内容に共感していただけるよう歌うのが音楽家の使命です。九条の会という事をふまえて、戦争に関係のありそうな曲、秋の曲、自分の歌いたい曲、ピアノの表現力が充実した曲等を、平和への願いを込めて選曲しました。
本番にいかにか集中し、一曲一曲のもつ内容を表現できるかが私の課題です。今回、孫二人が初めて私の出演する音楽会に参加でき、帰宅後は繰り返し「里の秋」を歌う姿に感激しました。
小川町の、子供から若者・中高年まで楽しめるプログラムを作成するには、まだまだ課題もありそうです。(大塚 秀子 さん)

ちょっといいなしペットを飼える幸せ

西田一雄さんの「エスの思いで」が日高市で紹介

07年夏、「小川町平和のための戦争展」で「ソウ列車」を歌う子供たちの前で話された、本会代表委員の一人の西田一雄さんの子供時代の思い出「エスの思いで」が、この度、日高市の「ひだか平和新聞」によって同市で広範囲で紹介されました。

西田少年の犬の仲良しだった飼犬の「エス」が、戦争で強制的に取り上げられ殺されてしまったお話です。覚えていた方もおられるでしょう。

小川町の今年の戦争展に、日高市の平和委員会の方々が来場され、展示の中味の素晴らしさに感動され、是非参考にしたいと帰られました。そのとき目に留まったのが「先輩からの伝言」と題された体験談の数々です。

「日高市も典型的な東京のベッタウン。「ペットブーム」でたくさん犬が飼われているが、そのペットが悲惨な目に遭うような戦争のことを子供たちを含めて、知ってもらうために」と配布された新聞には「そんなことがあったのか」と、改めて「平和の大切さとそれを守ることの重要性」についての反響が日高市平和委員会に寄せられているそうです。